

平成30年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 物質地球科学科 地学系

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

1

図1に北緯29度における2013年の海面水温(°C)の変化を示す。範囲は東経121.5度から東経140度までである。図2の太線でその緯度・経度に対応する位置を示す。図1の横軸は日付で数字は月を表す。縦軸は経度を示す。等値線の間隔は1°Cである。図1について次の問いに答えなさい。

問1 海面水温の変動の特徴を200字以上、400字以内で述べなさい。

問2 図1の海面水温の特徴について、あなたが疑問に思ったことを、あなたなりの仮説として述べなさい。さらにそれを証明するには、何をどのような方法で調べればよいか。全体として、300字以上、600字以内で述べなさい。

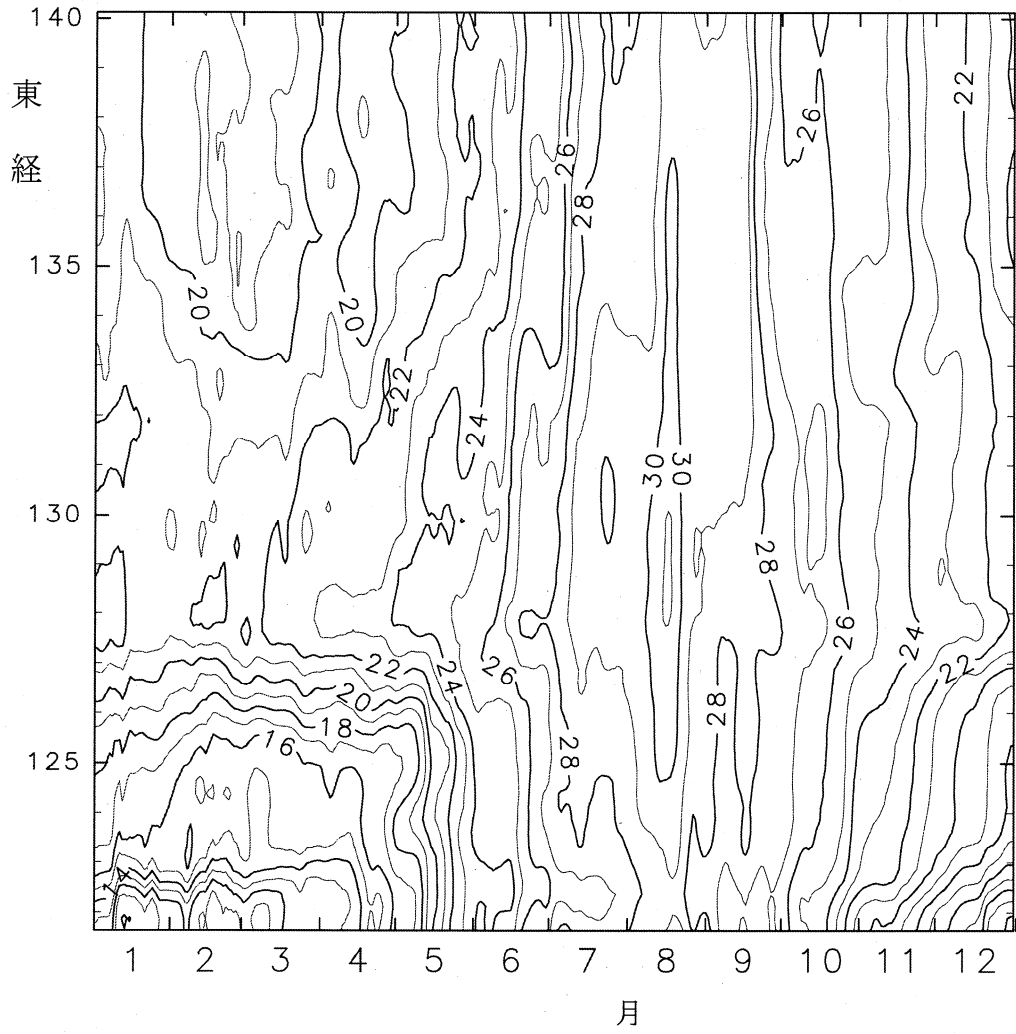


図1 気象庁データより作成

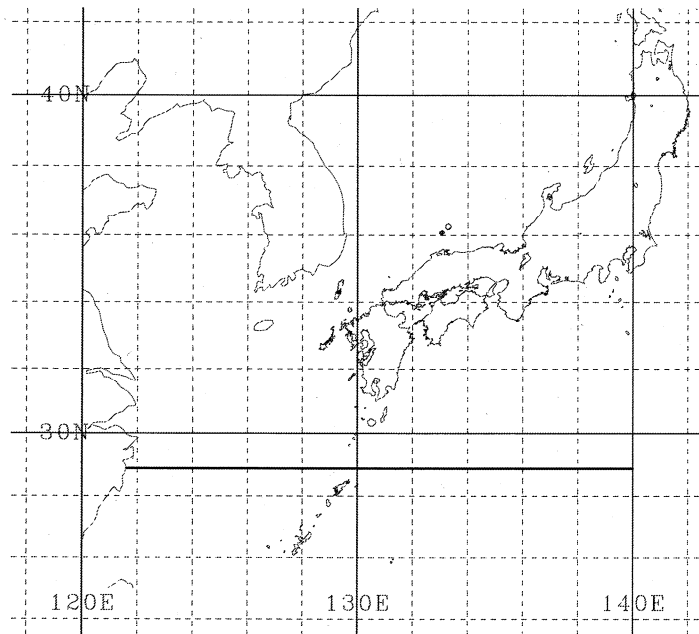


図2

下の文章の内容に沿った、PCとプロジェクターを用いたプレゼンテーションを行うことを想定して、複数枚のスライド案を作成しなさい。スライド作成には、どのようなデータや写真が必要で、どのように図表化するのが効果的か、スライドの内容をよく考えること。なお、架空のデータを入れてもよい。解答用紙には12枚の空白スライドを用意したが、作成するスライドの枚数はとくに指定しない。また、発表者氏名は「琉大太郎」とする。

湧水は、古来より人々の生活用水として使われ、人々の暮らしと密接な関わりの中で地域の文化を育んできた。また、生物の生息・生育を成立させ、地域の生態系を支える重要な存在でもある。

しかし、今日では、都市化の影響や土地の開発に伴う土地利用の変化などから、多くの湧水で水量の減少や、枯渇、水質悪化などの問題が生じている。また、水道施設の普及等によって人々と湧水との直接的な関わりが薄れ、湧水の存在やその重要性に対する認識が希薄化するとともに、湧水を守り大切にするための地域としての関わりも少なくなってきている。

湧水は地域の環境要素であるとともに、生活に潤いをもたらす地域の文化資源としても貴重である。また、災害時における水の確保、環境学習、地域活性化やまちづくりの対象などとしても重要な存在であり、近年その機能が見直され、湧水の保全・復活の必要性が高まっている。

出典：環境省 水・大気環境局 土壌環境課 地下水・地盤環境室、『湧水保全・復活ガイドライン』
2010年，1ページ，抜粋・一部改変。

平成30年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 物質地球科学科 地学系

出題の意図

地学系のアドミッションポリシーは、「地学系では、地球と海洋に関する自然現象に興味を持ち、意欲的に地球科学の知識を身につけ、探究心に富む人を求めています。特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然現象に興味のある人を求めています。」である。このようなアドミッションポリシーの観点から、データを正確に読み取る能力、論理的に文章にまとめる能力、思考力、表現力、およびプレゼンテーション能力をみる。